

## 平成30年度 新潟市美術館事業報告

## I 展覧会事業

## 1. コレクション展

(延人数)

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
4月20日 ～7月29日	コレクション展Ⅰ 「まる、はじまりのかたち」	卵のモチーフから出発し、抽象・具象を問わず、身近な事物から抽象的・幾何学的・概念的なまろいかたちに注目して構成。	6,895	78	88
8月7日 ～12月2日	コレクション展Ⅱ 「LANDSCAPE 水土の作家 × NCAMコレクション」	「水と土の芸術祭2018」開催にあわせ、これまでの同芸術祭参加作家から7名の所蔵品を核とし、古今東西を問わずコレクションの他の作品を取り合わせることで、新潟という風土に向けられたまなざしに迫った。	11,511	80	144
12月7日 ～4月7日	コレクション展Ⅲ 「美術の偶然！」	シュルレアリストが試みた技法からハプニング的な芸術表現など美術表現における「偶然性」を紹介するとともに、近隣学校の協力を得て収蔵品からランダムに抽出した作品の展示も行った。	9,739	92	106
9月6日 ～9月24日	〈正・誤・表〉 美術館とそのコレクションを めぐるプログラム	正と誤(あるいは、本とそれに挟みこまれた正誤表)の不安定な関係を、美術と美術館の関係になぞらえて企画。公開機会が限られていた所蔵品、ワークショップで持ち寄られた市民の「宝物」などの展示により公／私の対照を試みた。展示室内で行った実験公演やシリーズ・レクチャーでは多様なゲストを迎え美術を取り巻く状況への問題提起を行った。	1,450	17	85
合計			29,595	267	111

## 2. 企画展

(延人数、金額：千円)

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
			歳入／歳出(市)		
4月14日 ～6月10日	滋賀県立近代美術館所蔵 小倉遊亀 絵筆にこめた愛	小倉遊亀の作品を、出身地である滋賀県立近代美術館の協力を得て展示した。同館がリニューアル休館中であることから実現した。テーマ構成とし、画家の文章や遺愛の品々・アトリエ資料、インタビュー映像も展示に加え画家のひとりとなりにも迫った。糸魚川市出身の夫のエピソードなども紹介した。<市美術館とBSN新潟放送による実行委員会を組織>	9,016	51	177
			3,853／5,400		
6月23日 ～8月26日	阿部展也 —あくなき越境者	阿部展也(1913～71)の全貌を回顧する展覧会。当館の企画・幹事により広島市現代美術館、埼玉県立近代美術館との共同研究展として実現。年代順に5章構成とし、新出資料や周辺作家の作品も交えた紹介に力を注いだ。美連協大賞「優秀カタログ賞」を受賞。<読売新聞社、美術館連絡協議会との共同主催>	3,192	57	56
			1,730／9,303		
11月3日 ～12月16日	フランス国立図書館 版画コレクション ピカソ 版画をめぐる冒険	日仏友好160周年に際して、フランス国立図書館の版画・写真部門のコレクションから選りすぐりのピカソ版画作品を展示。その豊富なコレクションより、レンブラントやゴッダなどの巨匠たちの版画作品を展示することで、美術史を「剽窃」「再解釈」したピカソの表現を浮かび上がらせた。関連展示として寄託品を含む当館所蔵のピカソ作品も全点展示し、展覧会の充実を図った。<市美術館とTeNYテレビ新潟による実行委員会を組織>	15,611	38	411
			4,619／3,600		
1月12日 ～3月24日	東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館所蔵 東郷青児展	東郷青児記念損保ジャパン日本興亜美術館の全面的な協力を得て、東郷青児の画業とともに、「デザインの仕事」「言葉の仕事」を取り上げ多面的に紹介した。関連イベントには東郷の文章の朗読会も開催した。新潟市と損保ジャパン日本興亜との地域創生に関する包括連携協定(2017年締結)に基づき開催したもの。	8,205	62	132
			4,308／5,484		
合計			36,024	208	173
			14,510／23,787		

## 3. 新潟市美術展(貸館)

(延人数)

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
10月10日～14日 17日～21日	第50回新潟市美術展	新潟市に在住・通学・通勤している市民の作品による展覧会	5,253	10	525

## II 教育普及事業

### 1. コレクション展関連

(延人数)

展覧会名	事業名	内容	参加者数	
コレクション展Ⅰ	ギャラリートーク	学芸員による展示作品の解説など(4/28、5/26、6/23、7/28) 各日14:00～ 4回 常設展示室	29	
コレクション展Ⅱ	ギャラリートーク	学芸員による展示作品の解説など(8/19、8/25、9/15、11/24) 各日14:00～ 4回 常設展示室	46	
コレクション展Ⅲ	ギャラリートーク	学芸員による展示作品の解説など(12/22、1/26、2/23、3/23) 各日14:00～ 4回 常設展示室	30	
〈正・誤・表〉 美術館と そのコレクションを めぐるプログラム	実験公演 「プラスマイナス3センチの笑い」	出演:ナツノカモ(構成作家・演出家・ナレーター) 9/23 14:00～ 企画展示室3 企画・運営:土3事務局	65	
	シリーズ・レクチャー 「美術と世の中、とか外」	第1回「いかがわしい文化と、文化のいかがわしさについて」 講師:越智敏夫氏(新潟国際情報大学教授、現代政治理論) 9/9 14:00～ 企画展示室3	72	
		第2回「大正ボーイ・藤田嗣治は、昭和の戦争をどう描いたのか」 講師:河田明久氏(千葉工業大学教授、日本近代美術史) 9/16 14:00～ 企画展示室3	54	
		第3回「美術館は外の声にどう向き合うか」 講師:前山裕司 9/22 14:00～ 企画展示室3	43	
		第4回「細かすぎて(あまり)報道されなかった平成の美術の動き」 講師:藤井素彦 9/24 14:00～ 企画展示室3	55	
ワークショップ 「わたしたちのたからもの」	作品の借用・貸出、キャプションづくり、運搬、返却までの展覧会づくりの一端を、それぞれの「たからもの」を使って実際に体験。集められた「たからもの」は会期中展示。 8/22 実習室	8		
計18回			合計	402

### 2. 企画展関連

(延人数)

展覧会名	事業名	内容	参加者数	
小倉遊亀 絵筆にこめた愛	記念講演「小倉遊亀の生涯と画業」	講師:國賀由美子氏(大谷大学文学部歴史学科教授(日本絵画史)、元滋賀県立近代美術館専門学芸員) 5/13 14:00～15:30	128	
	ワークショップ「日本画に親しむ～小倉遊亀の絵筆に迫ろう」	講師:永吉秀司氏(新潟大学教育学部准教授、日本美術院 院友、地域連携教育プログラム委員) 協力:公益財団法人 日本美術院 地域連携教育プログラム 協賛:小津和紙 5/27 13:30～16:30 実習室+企画展示室	27	
	ギャラリートーク	学芸員による作品解説 4/22、5/20、6/3 14:00～ 3回	109	
阿部展也 —あくなき越境者	講演会「なぜ阿部展也は日本近代美術史上かくも重要な存在なのか」	講師:大谷省吾氏(東京国立近代美術館美術課長) 7/15 14:00～15:30	36	
	美術講座「日本写真史の一系譜 阿部展也・大辻清司・牛腸茂雄」	講師:松沢寿重 7/21 14:00～ ※当館事業「美術講座」の一環(後掲)	30	
	美術講座「エンコステックと阿部展也」	講師:上池仁子 8/18 14:00～ ※当館事業「美術講座」の一環(後掲)	18	
	ワークショップ「まる、からはじめて」	7/1 10:00～ 実習室、常設展示室、エントランスロビー・スロープ ※当館事業「実技講座」の一環(後掲)	16	
	ギャラリートーク	学芸員による作品解説 6/24、7/8、7/29、8/12、8/26 14:00～ 5回	57	
ピカソ 版画をめぐる冒険	講演会「版画史から見る技法と表現—デューラーからピカソまで」	講師:佐藤直樹氏(東京藝術大学美術学部准教授、元国立西洋美術館版画素描室長) 11/25 14:00～15:30	80	
	美術講座「ピカソの恋人—描かれたミュージシャンたち」	講師:荒井直美 11/17 14:00～15:30 ※当館事業「美術講座」の一環(後掲)	77	
	美術講座「ピカソとロシア」	講師:前山裕司 12/15 14:00～15:30 ※当館事業「美術講座」の一環(後掲)	84	
	挑戦!ピカソっぽく描いてみよう	講師:児矢野あゆみ、上池仁子、荒井直美 12/1 13:30～16:30 企画展示室、実習室 ※当館事業「子ども講座」の一環(後掲)	19	
	上映会「ピカソ:天才の遺産」	ドキュメンタリー映画『ピカソ 天才の遺産』(1980年製作、アメリカ)の上映 11/3、11/10、11/11、11/18、11/23、11/30、12/8、12/9、12/14、12/16 14:00～15:30 10回	627	
	ギャラリートーク	学芸員による展示作品の解説 11/4、12/2 14:00～14:30 2回 企画展示室	125	
	よるの朗読会「東郷青児をよむ」	出演:島村仁氏(ラジオDJ、FM PORT「BEAT COASTER」ナビゲーター) 2/16 18:00～19:00(延長開館にて実施) 企画展示室3	89	
講演会「青児美人とその時代」	講師:中島 啓子氏(東郷青児記念損保ジャパン日本興亜美術館主任学芸員) 3/10 14:00～15:30	72		
ギャラリートーク	学芸員による展示作品の解説 1/27、2/10、2/24 14:00～ 3回 企画展示室	114		
計35回[当館での実施分]			合計	1,708

※特に記載のないものは当館講堂にて開催、肩書の記載のない講師は当館学芸員

### 3. 学校向け教育普及事業

#### ①ARTRIP(アートリップ/来館前の出張授業と来館鑑賞授業を組み合わせたプログラム)

(単位:人)

実施日	実施校	内容	参加者数		
			児童・生徒	引率 (含教職員)	合計
7月5日(木) 7月12日(木)	早通南小学校(6年)	派遣授業では対話形式で阿部展也展の展示作品を紹介。来館時はワークシートに「気になる」作品を記入しながら阿部展也展を鑑賞した。	83	5	88
9月7日(金) 9月11日(火)	巻南小学校(3年)	図版によるグループワークを行い、ワークシートを活用しながら個人個人の第一印象とグループで見た時の感覚の違いをたしかめ、来館時は対話型鑑賞を行ったのちコレクション展Ⅱを鑑賞した。	71	4	75
9月5日(水) 9月14日(金)	山潟小学校(5年)	「作品の中に入れてみよう」をキーワードに、図版によるグループワークを行い、来館時は対話型鑑賞を行った後、コレクション展Ⅱを各自で鑑賞した。	66	2	68
11月19日(月) 11月21日(水)	小瀬小学校(5,6年)	図版によるグループワークを行い、来館時はコレクション展Ⅱおよびピカソ展を全体で鑑賞した。	32	2	34
11月15日(木) 11月22日(木)	南中野山小学校(2年)	コレクション展Ⅱを題材としてアートカードで共通点探しを行い、作品に親しんだ上で、来館時は対話型鑑賞をしたのちお気に入りの作品の鑑賞を行った。	61	3	64
11月20日(火) 11月28日(水)	小合東小学校(3~6年)	モニターによる対話形式で出品作品を鑑賞したのち、「実際に見てみたい作品」をカードから選んだ。来館時はそれぞれの展示を学年ごとに鑑賞した。	43	7	50
1月9日(水) 1月16日(水)	中野小屋中学校(1~2年)	コレクション展Ⅲを題材として、ともにアートカードを使用した。1年生は展示作品にも使われている技法(デカルコマニーやドリップング)を体験、2年生はモノクロ図版から色の想像をして思い思いに着色してから、その経験を元にそれぞれ来館時に対話型鑑賞を行った。	25	2	27
計7校(出張授業7回、来館鑑賞授業7回)			合計	25	406

#### ②教職員視察ウィーク

(延人数)

期間	実施校	内容	参加者数	
4月22日 ~4月29日	「小倉遊亀 絵筆にこめた愛」 コレクション展Ⅰ「まる、はじまりのかたち」	新潟市内の幼稚園・保育園や学校の教職員から、企画展・コレクション展を視察してもらい、授業での美術館活用・利用に役立ててもらったり、児童・生徒へ美術館や展覧会を紹介してもらったりするための視察・広報期間。企画展、コレクション展それぞれの「鑑賞のヒント」を作成し、配布。	9	
6月24日 ~7月1日	「阿部展也—あくなき越境者」 コレクション展Ⅰ「まる、はじまりのかたち」		4	
9月9日 ~9月16日	「〈正・誤・表〉美術館とそのコレクションをめぐるプログラム」 コレクション展Ⅱ「LANDSCAPE」		3	
11月4日 ~11月11日	「ピカソ展 版画をめぐる冒険」 コレクション展Ⅱ「LANDSCAPE」		35	
1月13日 ~1月20日	「東郷青児展」 コレクション展Ⅲ「美術の偶然！」		24	
計5回			合計	75

#### 4. 美術講座

(単位:人)

実施日	講座名	講師	参加者数
7月21日(土)	日本写真史の一系譜 阿部展也、大辻清司、牛腸茂雄 ※「阿部展也展」と関連	松沢 寿重	30
8月18日(土)	エンコースティックと阿部展也 ※「阿部展也展」と関連	上池 仁子	18
11月17日(土)	ピカソの恋人 —描かれたミュージズたち ※「ピカソ 版画をめぐる冒険」と関連	荒井 直美	77
12月15日(土)	ピカソとロシア ※「ピカソ 版画をめぐる冒険」と関連	前山 裕司	84
1月19日(土)	ウィリアム・モリスと19世紀後半のイギリスの暮らし	星野 立子	84
2月16日(土)	イタリア・マニエリスムと芸術家列伝	児矢野あゆみ	49
3月16日(土)	世間を騒がせた画家たち ※「東郷青児展」と関連	藤井 素彦	58
計7回			合計 400

#### 5. 実技講座

(単位:人)

実施日	講座名	内容	参加者数
5月27日(日) 13:00~16:30	日本画に親しむ ~小倉遊亀の絵筆に迫ろう	講師:永吉秀司氏(日本画家、新潟大学教育学部准教授、日本美術院院友) 対象:高校生以上 企画展「小倉遊亀 絵筆にこめた愛」関連。「公益財団法人日本美術院地域連携教育プログラム」の協力、「小津和紙」の協賛にて実施した。永吉秀司氏を迎え、顔料や岩絵具、箔など日本画ならではの素材に注目しながら小倉作品を鑑賞した後、色紙の小品を制作した。	27
7月1日(日) 10:00~12:30	まる、からはじめて	講師:上池仁子、児矢野あゆみ 対象:小学生以上 コレクション展Ⅰ「まる、はじまりのかたち」と企画展「阿部展也—あくなき越境者」で、多様な「まるいかたち」の表現を鑑賞した後、エントランスのガラス面にマスキングテープや色セロハンなどで「まる」を作ることを起点に作品を制作。完成後は7月10日まで一般公開した。	16
計2回			合計 43

#### 6. 子ども講座

(単位:人)

実施日	事業名	内容	参加者数
8月24日(金) ①10:00~12:00 ②13:30~15:20	こどもがつなぐ 渦の宝(植物)を輝く未来へ ~アートのさりげない 表現(アートのカ・創造)~	講師:井川惺亮氏(いかわ せいりょう、現代美術家) 対象:3歳~小学校3年生と、その保護者 「水と土の芸術祭こどもプロジェクト」との連携事業。 美術館ならではの廃材である貼れパネや巻段ボール、紙管などに着色してオブジェを制作。 午前は「山の庭」に、午後は「常設ロビー」に、「さりげない」をキーワードに設置し、空間を美しく変容させた。完成作は、参加者同士の鑑賞会後に当日撤収した。	①子ども 11 保護者 8 ②子ども 10 保護者 6
12月1日(土) 13:30~16:30	挑戦!ピカソっぽく描いてみよう	講師:児矢野あゆみ、上池仁子 対象:小学3年生~中学生と、その保護者 企画展「フランス国立図書館版画コレクション ピカソ 版画をめぐる冒険」に合わせて実施。 ピカソが過去の巨匠たちの作品に大胆な解釈と表現を加えて作品化したことに注目。展示作品の鑑賞をヒントに、参加者が持ち寄った「お気に入りの写真」に自由なアレンジを加えて、描き変えることに挑戦した。	子ども 10 保護者 9
計3回(2日)			合計 子ども 31 保護者 23

#### 7. きままプログラム(ラウンジNでの自由参加・無料のワークショップ)

期間	事業名	内容
4月3日(火) ~8月5日(日)	まるまるのわ	コレクションⅠ「まる、はじまりのかたち」「阿部展也展」にちなみ、「まる」=「輪」をモチーフとしてワークインプ ログレシ的な作品制作を行う。色画用紙の帯を輪にしてとめていく。多くの人の手によって行われる単純な仕 草の繰り返しがいちいち成長する過程を楽しむことができた。
8月7日(火) ~10月21日(日)	西大畑みずつちさんぽ	マスキングテープを使って西大畑界隈のマップを掲出。水と土の芸術祭2018の会期に合わせて、近隣施設の 情報提供を図るとともに、フセンでお気に入りのスポット等の書き込みを募った。
11月3日(土) ~12月24日(月)	みんなでつくる☆クリスマス	毎年恒例のシリーズとして、クリスマスシーズンに向けて、何も飾られていないツリーを手作りのオーナメント で飾り付ける。素材は講座事業の使い残しの画用紙や、包装紙、廃材などを使用。美術館協力会に素材提供 を募るとともに、準備を協働して行った。
1月22日(火)~ 4月14日(日)	優美な屍骸はあたらしい葡萄 酒を飲むだろう	コレクション展Ⅲ「美術の偶然!」にちなんでシュールリアリストの「優美な死体」ゲームを体験してもらった。 「いつ」「どこで」「だれが」「どうした」、あるいは「あたま」「どうたい」「あし」「つまさき」のそれぞれのパーツを言 葉や絵で描き、あらかじめ壁面に用意したクリップに掲示することで思いがけない文脈の組合せを楽しむ。

#### 8. 博物館実習受入れ

(単位:人)

期間	内容	実習生数
9月15日(土) ~9月25日(火)	学芸員資格取得に係る実習生の受入れ(10日間/6大学)	8

### Ⅲ 調査研究事業

項目	内容
『新潟市美術館 年報』の発行	美術館の諸活動を他の美術館や関係機関に報告するとともに、今後の調査・研究の基礎資料として活用する。年1回、350部発行。他の美術館や関係機関ほかに配布。
『研究紀要』の発行	美術館の調査研究活動の成果を論文や研究ノートとして掲載。新津美術館と共同で年1回発行。300部発行。他の美術館や関係機関ほかに送付するほか、館ホームページに掲載。

### Ⅳ 収集保存事業

#### 1. 美術資料の収集

##### ①購入

区分	作家名(点数)
なし	

##### ②寄贈

区分	作家名(点数)
書跡1点	菅井柳翠(1)
絵画1点	末松正樹(1)
素描34点	末松正樹(34)
計36点	

##### ③管理換

区分	作家名(点数)
絵画3点	セルゲイ・ヴァセンキン(3)
写真1点	阿部展也(1)
資料5点	最上壽之(1)、建昌覚造(4)
計9点	

#### 2. 収蔵・展示環境保全／作品管理

項目	内容
収蔵・展示環境保全	収蔵庫、展示室の温湿度管理、収蔵庫の定期清掃(1回) 浮遊菌調査(4回)及び捕虫トラップ調査(2回)を実施(※公益財団法人文化財虫菌害研究所へ委託)
作品修復	実施なし
作品管理	作品情報のデータベース化を進め、カードとデータとの2元管理により事務の効率化を図った。

V 施設普及事業ほか

項目	内容	参加者数
他施設との連携	<p>○新潟アートリンク(新潟県立近代美術館、県立万代島美術館、新津美術館との4館による連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共通チラシの作成、トークセッションの実施</li> <li>・博物館・美術館等の保存担当学芸員研修報告会実施(当館主催)</li> <li>・教育普及部会の立ち上げ及び普及事業の相互見学実施</li> </ul>	
	<p>○新津美術館との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図録や絵はがきの相互販売</li> <li>・ホームページの相互リンク</li> <li>・こどもスタンプカードの共通運用</li> </ul>	
	<p>○西大畑・旭町界隈の文化施設(砂丘館、旧齋藤家別邸など)との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町歩きマップ(「西大畑・旭町かいわい」)の配布、情報交換</li> <li>・冊子「みどりの新潟を歩く—新潟島の公園と庭園」取材協力</li> </ul>	
	<p>○「水と土の芸術祭2018」事業への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品展示(星野暁《古代緑地の雨》(山の庭)、《再生ノコペルニカス以前の泥Ⅱ》(海の庭)、古川知泉《Rain Tree(降り注ぐ恩寵)》(山の庭))</li> <li>・みずつち座談会(トークイベント)第4回 遠藤利克×松井紫朗×富井大裕によるいま語り「彫刻—彫刻はどう変わり、どこへ向かおうとしているのか—」ファシリテーター/谷新(講堂)</li> <li>・こどもプロジェクト 井川惺亮「こどもがつなぐ潟の宝(植物)を輝く未来へ—アートのさりげない表現(アートのカ・創造)～」の協働開催 ※当館子ども講座事業として(前掲)</li> </ul>	
	<p>○新潟市西地区公民館主催「うちの学びカフェ」への講師派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「うちの学びカフェ〜ピカソの人生と色彩に学ぶ」(5/24、児矢野あゆみ)</li> <li>・「うちの学びサロン〜小倉遊亀の画業に学ぶ」(11/26、荒井直美)</li> </ul>	
	<p>○その他展覧会関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小倉遊亀展 敦井美術館での関連展示(小倉遊亀、安田毅彦作品展示) 公益財団法人日本美術院地域連携教育プログラム「日本画に親しむ〜小倉遊亀の絵筆に迫ろう」開催 ※当館実技講座事業として(前掲)</li> </ul>	
新潟市美術館協会との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局会議の開催 12回</li> <li>・解説会(「ふれあい美術館ガイド」)の開催 11回</li> <li>・勉強会(解説部員)の開催 11回</li> <li>・広報の支援(展覧会ポスター・チラシの分けなど) 4回</li> <li>・資料整理の支援(新聞記事スクラップ、図書の整理など) 37回</li> <li>・LoungeNきままプログラムの実施準備 4回</li> <li>・研修旅行(県外日帰り)の実施 2回</li> </ul>	

## 「新潟市美術館の今後の運営方針」に対する平成30年度の実施概要

[構想の理念] 政令市にふさわしい、市民に開かれた個性あふれる美術館

1 「あるもの（館蔵品を含む地域の多様な文化資源・自然環境）」を活かし、新たな知を掘り起す 「発見する美術館」
2 教育普及の事業を通じて、あらゆる世代の市民が 「学べる美術館」
3 さまざまな芸術が交差し、訪れるたびに心躍る 「生きている美術館」
4 市民同士、地域の文化施設相互が 「つながる美術館」
5 高い質を保ち、市民が誇れる 「信頼の美術館」

[各論と具体策]

各論	具体策	理念との対応	平成30年度 実施内容	事業報告(頁)
コレクションの充実と有効活用	(1) コレクションの充実 ①まる、はじまりのかたち ② LANDSCAPE 水土の作家×NCAM コレクション ③ 美術の偶然！	【1】【5】	(ア) 美術資料の購入・寄贈作品の受入れ 〈購入〉 なし 〈寄贈〉 36点 書跡 菅井柳翠 1点 絵画 末松正樹 1点 素描 末松正樹 34点 〈管理換〉 9点 絵画 セルゲイ・ヴァシケン 3点 資料 阿部展也、最上壽之、建島覚造(4) 計6点	5
	(2) コレクション展の充実(多様な視点から光を当てる)		(ア) コレクション展の開催(3回) コレクション展Ⅰ「まる、はじまりのかたち」 コレクション展Ⅱ「LANDSCAPE 水土の作家×NCAM コレクション」 コレクション展Ⅲ「美術の偶然！」	1
	(3) 所蔵品に関する調査研究の深化と成果の公開		(ア) 『新潟市美術館 年報』の発行 (イ) コレクション展の開催(再掲)	5 1
	(4) 市内の他施設との連携(共同研究、資料貸借、共同展の開催など)		【4】	(ア) 県立近代美術館、県立万代島美術館との連携 共通チラシの作成、トークセッションの実施 (イ) 新津美術館との連携 展覧会日程表やチラシに相互に情報掲載 図録や絵はがきの相互販売 広報(ホームページで相互リンク) こどもスタンプカードの共通運用 (中学生以下、4個で景品プレゼント) (ウ) 西大畑・旭町界隈の文化施設(砂丘館、旧齋藤家別邸等) との連携 町歩きマップの配布 冊子(「みどりの新潟を歩く-新潟の公園と庭園」)の配布
企画展の充実	① コレクションの特色を反映した展覧会の開催 ② 地域において顕彰するべき作家を対象とした展覧会の開催 ③ 多様な分野の質の高い展覧会の開催 ④ 姉妹都市や環日本海諸国との交流など、海外の美術を対象とした展覧会の開催	【1】【3】 【5】		(ア) 企画展の開催(4回) 「小倉遊亀 絵筆にこめた愛」 「阿部展也 ― あくなき越境者」 「ピカソ 版画をめぐる冒険」 「東郷青児展」

各論	具体策	理念との対応	平成30年度 実施内容	事業報告(頁)
市民に親しまれる美術館づくり	(1) 学校教育との連携 美術館での鑑賞体験をさらに深めるため、学校での学芸員による出張授業と美術館での鑑賞体験をセットで実施(アートトリップ事業)	【2】【4】	(ア) アートトリップ事業の実施 7校 406人 (イ) 教職員視察ウィークの実施 5回 延75人	3 3
	(2) 生涯学習の場 ① コレクション展・企画展における展示作品解説 ② 企画展関連事業(講演会、学芸員による関連講座、ミュージアムコンサートなど) ③ 美術講座(講堂を活用した美術に関する講座) ④ 実技講座(実習室を活用した作品制作の講座) ⑤ 市民ボランティアの解説員の育成	【2】【3】 【4】	(ア) 展示作品解説会の開催 25回 (イ) 企画展関連事業の開催 28回 (ウ) 美術講座の開催 7回 (エ) 実技講座の開催 2回 (オ) 美術館協力会解説部勉強会の開催(毎月第2土曜日) 11回	2 2 4 4 6
	(3) 美術館を支援する市民(例として美術館協力会など)との連携	【4】	(ア) 美術館協力会との連携[広報作業、資料整理、解説会の開催(毎月第3日曜日)計11回]	6
文化観光・国際交流拠点としての美術館づくり	(1) 発信力のアップ(ホームページの充実、広報物のデザイン性アップなど)	【3】【4】	(ア) ホームページ重用による情報発信 (イ) 館案内、リーフレット、パンフレットの配布 (ウ) SNS(フェイスブック)の活用	— — —
	(2) 外国語への対応(ホームページ、館内表示やスタッフ対応など)		(ア) 新潟市美術館 英語対応ホームページの運用 (イ) 英語版パンフレット、5か国語対応リーフレットの配布	— —
	(3) 国内外の美術情報の提供		(ア) チラシ配布やポスター掲示によるPR	—
	(4) ミュージアムショップ、カフェの充実		(ア) ミュージアムショップ(「ルルル」)との連携 企画展関連グッズの販売 (イ) カフェ(「こかげカフェ」)との連携 オリジナルメニューの作成販売 (ウ) ショップ・カフェとの連絡会議の開催(毎月)	— — — —
時代に即した弾力的な美術館経営	(1) 企画展事業のマネジメント ① 報道機関との共催関係の形成や実行委員会形式の展覧会の開催 ② 年間を通じて収支を意識し展覧会を企画・運営	【5】	(ア) 報道機関との展覧会の共同開催 「小倉遊亀 絵筆にこめた愛」 ・BSN新潟放送と実行委員会を組織 「阿部展也 — あくなき越境者」 ・読売新聞社との共同主催 「ピカソ 版画をめぐる冒険」 ・TeNYテレビ新潟と実行委員会を組織 (イ) 企画展収支(市経費) 歳入14,510千円 / 歳出23,524千円	1 1
	(2) 新規の来館者を増やし、リピーターを獲得するためのしくみづくり	【4】	(ア) こどもスタンプカードの運用(再掲) (イ) 県立近代美術館・県立万代島美術館との連携(再掲/新潟アートリンク) トークセッションの実施など (ウ) リピーター割引料金(団体料金同額)の本格実施 (エ) 水と土の芸術祭2018への協力 作品の展示(海の庭、山の庭)	6 6 —
組織と人員配置および施設管理	(1) 展示保存環境の堅持と必要な人員配置及び人材の確保・育成	【5】	(ア) 定期的な室内保存環境の検査(公財文化財虫菌害研究所に委託) (イ) 各種の研修に参加(著作権セミナー、保存担当学芸員研修、鑑賞教育指導者研修会など)	5 —
	(2) 施設機能の充実		(ア) 施設管理に係る各種業務を専門業者に委託	—
	(3) 中・長期の継続的な事業活動を支えるため、直営形式による運営管理体制を維持		(ア) 直営形式による館の運営管理体制の維持	—

## 平成30年度 新潟市新津美術館事業報告

## I 展覧会事業

## 1. コレクション展

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
4月7日 ～5月20日	描かれた女性たち	裸婦像・母子像・働く姿など、様々な表現された女性の姿を紹介。 (笹岡一 2点ほか、菊川三織子、田中百合子、藤田チヨ子、安宅庸雄、池山阿有、高野三三男、平松謙 各1点)	26,093	40	652
6月2日 ～8月19日	もこもこ・とげとげ・つるつる	特徴的な表現をもつ色や形、質感に着目して当館所蔵品を紹介。 (二村裕子 2点、張替正次 2点ほか、小野末、関屋俊彦、富岡惣一郎、五代伊藤赤水、原益夫、三浦小平二 各1点)	15,666	70	224
9月1日 ～12月2日	笹岡一とその周辺	笹岡一と妻・秋元松子、弟子の篠崎輝夫、大橋廣治らの作品を、新収蔵品を交えて展示。 (笹岡一、秋元松子、篠崎輝夫、河内文夫、大橋廣治、中野雅友、堀研一、山田一郎 各1点)	30,471	72	423
1月4日 ～3月10日	絵の中の不思議な世界	東欧の絵本原画と本県出身の森川ユキエ、西村満、猪爪彦一の幻想的な絵画作品を展示。 (東欧絵本原画 7点、猪爪彦一3点、森川ユキエ 2点、西村満 1点)	12,908	55	235
合計			85,138	237	359

※企画展・共催展・その他の展覧会の準備期間は全館閉館のため、コレクション展の開催はなし。

## 2. 企画展

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
			歳入／歳出(市)		
4月7日 ～5月20日	足立美術館所蔵 横山大観と 近代日本画名品展	島根県安来市出身の実業家・足立全康氏収集による優れた近代日本画コレクションと美しい日本庭園で知られる足立美術館から、横山大観の傑作22点と竹内栖鳳、川合玉堂などの名品33点、計55点を展示した。 <新津美術館・新潟日報社・NSTによる実行委員会を組織>	26,093	40	652
			10,061／10,000		
6月2日 ～8月19日	連載30周年記念 ほのぼの原画展	『ほのぼの』は四コマ漫画で、いがらしみきお(1955～)の代表作。ほのぼのとした作風に不条理なギャグと哲学が融合した作品世界は幅広いファン層を持ち、TVアニメ化もされた。本展では漫画原稿・絵本原画・アニメ資料など約340点を展示し、記念撮影コーナーなども多数設置した。 <新津美術館・新潟日報社・NSTによる実行委員会を組織>	15,666	70	224
			3,990／5,000		
9月1日 ～11月11日	北欧の陶芸家 リサ・ラーソン展 暮らしを愛するすべての人へ	本展は、リサ・ラーソン(1931～)の本国スウェーデンのロエースカ美術工芸博物館で2016年に開催された大回顧展をもとに、代表作約130点と、夫で画家のグンナル・ラーソンの絵画作品等を加えた計約190点で、その制作活動の全貌を紹介した。 <新津美術館・新潟日報社・UX新潟テレビ21による実行委員会を組織>	27,883	63	443
			8,494／4,300		
1月19日 ～3月10日	エドワード・ゴッリーの 優雅な秘密	不思議な世界観とモノクロームの緻密な線描で世界中にファンをもつエドワード・ゴッリー(1925-2000)。日本では異色の絵本作家として知られ、人気が高まっている。本展では世界各国を巡回した原画展をもとに、原画や草稿、書籍、資料等・約350点で、その制作活動を紹介した。	8,251	46	179
			5,457／9,081		
合計			77,893	219	356
			28,002／28,381		

※四捨五入あり

## 3. その他の主催展覧会

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
9月11日 ～9月30日	移動美術館 「蒐[あつ]める楽しみ、 小さな優品たち」	新津美術館の所蔵品を他地域の展示施設を会場に紹介(難波田龍起 1点、相馬其一 1点、小柳耕司 1点、福島長二郎 1点、星襄一 1点、高井貞二 1点、藤田嗣治 1点、岩田正巳 3点、三富與一 1点、笹岡一 1点、張利 1点、千原三郎 1点、高橋信一 1点、富岡惣一郎 3点、猪爪彦一 1点、式場庶諷子 2点、菊川多賀 1点、横山操 1点、齋藤應志 1点、菊川三織子 1点、計25点) 会場:新潟市江南区郷土資料館展示室(新潟市江南区文化会館内)	1,136	17	67
合計			1,136	17	67

## 4. 共催の展覧会

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
1月4日 ～1月12日	第15回新潟教育アート展	下越美術教育研究会との共催による県内の園児、児童、生徒の作品展	4,675	9	519
合計			4,675	9	519

◎ 新津美術館主催等による展覧会(上記1～4)の観覧者合計

168,842

## 5. その他の展覧会

(延人数)

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
11月23日 ~12月2日	第12回秋葉区美術展覧会	秋葉区に在住、通勤通学する方々の作品展	2,588	9	288
合計			2,588	9	288

## II 教育普及事業

### 1. 企画展関連

(延人数)

展覧会名	事業名	内容	参加者数	
足立美術館所蔵 横山大観と近代 日本画名品展	横山館長による作品鑑賞会 4月15日(日)実施	講師:横山秀樹(当館館長) / 会場:新津美術館 展示室	120	
	講演「横山大観と日本美術院」 4月22日(日)実施	講師:番場三雄氏(日本美術院同人) / 会場:新津美術館 市民ギャラリー	107	
	親子のためのギャラリートーク 5月13日(日)実施	親子向けの作品鑑賞会 講師:奥村真名美・斎藤未希(当館学芸員) / 会場:新津美術館 展示室	38	
連載30周年記念 ほのぼの原画展	いがらしみきお先生サイン会 6月2日(土)実施	会場:新津美術館レクチャールーム・市民ギャラリー	88	
	絵本の読み聞かせ 7月28日(土) 2回実施	ボランティアスタッフによる「ほのぼの」の絵本の読み聞かせ 会場:新津美術館 展示室	26	
	漫画ワークショップ 8月5日(日)実施	キャラクターイラストの描き方講座 講師:近藤康宏氏(新潟市マンガ・アニメ情報館) / 会場:新津美術館レクチャールーム	17	
	美術講座 8月12日(日)実施	「いがらしみきおの世界」 講師:大野智世(当館学芸員) / 会場:新津美術館 市民ギャラリー	13	
北畠の陶芸家 リサ・ラーソン展 暮らしを愛する すべての人へ	担当学芸員による ギャラリートーク 9月17日(月・祝)、10月6日(土)実施	講師:大野智世(担当学芸員) 会場:新津美術館 展示室	84	
	美術講座 10月21日(日)実施	「京都を彩った日本画家たち」 講師:横山秀樹(当館館長) / 会場:新津美術館レクチャールーム	21	
	美術講座 11月4日(日)実施	「工芸にみる動物のかたち」 講師:奥村真名美(当館学芸員) / 会場:新津美術館レクチャールーム	22	
エドワード・ ゴッリーの 優雅な秘密	学芸員によるギャラリートーク 2月11日(月・祝)実施	講師:斎藤未希(当館学芸員) / 会場:新津美術館 展示室	67	
	絵本の読み聞かせ 3月2日(土) 2回実施	ボランティアスタッフによるゴッリー作品の読み聞かせ 会場:新津美術館レクチャールーム	40	
	美術講座 3月3日(日)実施	「エドワード・ゴッリーの不思議な世界」 講師:斎藤未希(当館学芸員) / 会場:新津美術館レクチャールーム	53	
	夜の秘密の音楽会 3月9日(土)実施	演奏:庄司 愛氏、佐々木友子氏(ヴァイオリン・デュオ) / 会場:新津美術館アトリウム	123	
計17回			合計	819

## 2. 学校向け教育普及事業

### ①出前美術館

(単位:人)

実施日	実施校	内容	参加者数
6月18日	新潟市立中之口中学校 (西蒲区) 1~3年生	ほのぼのと一緒に！簡単マンガ教室 講師:近藤康宏氏(新潟市マンガ・アニメ情報館)	35
7月27日	新潟市立新津第二小学校 (秋葉区) 全学年		40
9月4日	新潟市立黒崎南小学校 (西区) 5年生	粘土で作る小さな石膏像 講師:本間公司氏(造形作家)	33
9月6日	新潟市立首野木小学校 (江南区) 特別支援学級		9
12月7日	新潟市立大鷲小学校 (南区) 6年生	アートカードを使った鑑賞教育授業 講師:大野智世(当館学芸員)	15
計5校			合計 132

### ②職場体験の受入れ

(単位:人)

実施日	実施校 / 学年	内容	参加者数
5月24日 ~5月25日	新潟市立新津第一中学校 (2年生)	生徒が事業所などの職場で働くことを通じて、職場や仕事の実状について体験したり、働く人々と接したりする学習活動の受入れ	5
7月10日 ~7月11日	阿賀野市立京ヶ瀬中学校 (2年生)		3
9月27日 ~9月28日	新潟市立金津中学校 (2年生)		1
計3校(3回)			合計 9

### ③教職員視察研修観覧

(単位:人)

内容	参加者数
新潟市内の教職員に企画展を観覧してもらうことで、授業での美術館活用の参考にしてもらうための事業(通年実施)	38
合計	38

### ④博物館実習の受入れ

(単位:人)

実施日	内容	実習生数
8月20日 ~8月31日	学芸員資格取得にかかる実習生の受入れ(10日間/2大学)	2

## III 調査研究事業

項目	内容
『新潟市新津美術館年報』の発行	美術館の諸活動を他の美術館や関係機関に報告するとともに、今後の調査・研究の基礎資料として活用する。 平成26年7月に平成20年度から25年度の6年間の諸活動をまとめた「6年報」を発行。 平成27年度より毎年発行。
『研究紀要』の発行	美術館の調査研究活動の成果を論文や研究ノートとして収載。新潟市美術館と共同で年1回発行。 発行部数:300部 配布先:他の美術館や関係機関等に送付。
西蒲区の美術品の調査	西蒲区内の学校および公共施設等で所有もしくは保管している美術作品について調査を実施し、展覧会の企画立案に役立てる。 <企画展>「西蒲区の隠れた名品展」を令和元年度に開催予定。

## IV 収蔵保存事業

### 1. 美術資料の収集

#### 寄贈

区分	作家名(点数)
日本画 3点	藤田チヨ子(1)、涌井欽也(2)
洋画 1点	猪爪彦一(1)
彫刻 2点	原田哲男(2)
素描 1点	原田哲男(1)
合計7点	

### 2. 収蔵・展示環境保全、作品管理

項目	内容
収蔵・展示環境保全	収蔵庫、展示室の温湿度管理 虫害調査、浮遊菌数調査を実施(公益財団法人 文化財虫菌害研究所へ委託) 美術品の燻蒸(包み込み燻蒸処理/サニータンに委託)
作品修復	裏打ち・軸装(3点)、破損箇所修復(1点)
作品管理	所蔵作品情報のカード化とデジタルデータ化を実施

## V 施設普及事業ほか

### 1. ミュージアムコンサート

(単位:人)

実施日	事業名	内容	参加者数
11月25日	区展ミニコンサート	秋葉区に在住もしくは通勤通学する方々の美術の祭典である秋葉区美術展覧会において、来館者に素晴らしい生演奏を聴いていただくとともに、秋葉区内で活動されている音楽家の方々の発表の場とする。 出演:新津市民合唱団 会場:新津美術館アトリウム	35
3月9日	夜の秘密の音楽会	企画展「エドワード・ゴッリーの優雅な秘密」展の関連イベントとして開催。 演奏:庄司 愛 氏、佐々木友子 氏(ヴァイオリン・デュオ) 会場:新津美術館アトリウム	123
計 2 回			合計 158

### 2. 新津美術館ボランティアによる活動

(延人数)

実施日	内容	参加ボランティア数
7月21日	絵本の読み聞かせ研修会	6
7月28日 ~3月2日	絵本の読み聞かせ(「連載30周年記念 ぼのぼの原画展」、「エドワード・ゴッリーの優雅な秘密」)	15
6月2日 ~3月9日	イベント・サポート(サイン会、コンサート)	20
5月8日 ~2月9日	広報補助(企画展ポスター・チラシ類の封入等発送補助作業) 12回	75
合計		116

※平成30年度登録ボランティア数:45人

### 3. 利用者にやさしいサービス

(単位:人)

項目	内容	利用者数
「託児サービス」	企画展会期中の第2・4の木曜・土曜日 10:00～12:00 対象:6ヶ月～未就学児 事前予約制 無料 <実績> 利用日数 12日	19
「こどもタイム」	館内にBGMを流し、親子で語り合いながら鑑賞できる時間帯を設定 企画展会期中の第1・3の木曜・日曜日 10:00～13:00 <実績> 39日	9,640
「あいてマンデ～」	各企画展会期中に1～2回、月曜日(休館日)を開館 <実績> 6日	1,235

### 4. その他

項目	内容
他施設との連携	○区内3施設連携による観覧料の割引 ・新津美術館、新津鉄道資料館、新潟県立植物園のチケット提示でそれぞれ団体割引
	○花ふるフェスタ協賛イベントの実施 ・新津観光協会等が中心となり県立植物園を会場に開催されるイベントで当日、観覧料を100円引き
	○フラワースタンブラリー ・新津美術館、新津フラワーランド、花夢里にいつ、他参加施設を巡るスタンブラリー
	○新潟市立金津小学校「ふれあいギャラリー」 ・児童の作品を新津美術館に通年展示(年3回入替)
	○市内の他文化施設との連携 ・江南区郷土資料館で新津美術館所蔵品による《移動美術館》を開催
	○新潟市美術館との連携 ・両館の図録や絵はがきを双方で販売 ・ホームページの相互リンク ・こどもスタンプカードの運用
	○NIIGATAアートリンク ・新潟県立近代美術館・万代美術館、新潟市美術館、新潟市新津美術館の4館による連携 ・「新潟県立万代島美術館開館15年記念トークセッション」等を開催
広報の拡充	○美術専門誌や地元新聞、テレビ、ラジオ、市HP、SNS、市報、区だよりを利用した広報
	○秋葉区の商店街や理容・美容組合、医院、観光協会のほか、江南区、南区、五泉市、新発田市(月岡地区)の事業所でもポスター配布等、広報活動を実施



各論	具体策	理念との対応	平成30年度 実施内容	事業報告(頁)
他施設等との連携・交流	(1) 市民、他施設との連携協力 ① 周辺施設、学校、市内の他施設との連携の充実	【3】	(ア) 秋葉区内3公共施設の連携による観覧料の割引(新津美術館・新津鉄道資料館・新潟県立植物園) (イ) 花ふるフェスタ協賛イベントによる観覧料の割引 (ウ) フラワースタンプラリーの実施 秋葉区や県内の参加施設を巡るスタンプラリー (エ) 新潟市立金津小学校「ふれあいギャラリー」で通年展示 (オ) 市内の他文化施設との連携 新潟市江南区郷土資料館で「移動美術館」を開催(再掲) (カ) 新潟市美術館との連携 物販(両館の図録や絵はがきを双方で販売) 広報(ホームページで相互リンク) こどもスタンプカードの運用 (対象:中学生以下、4個で景品プレゼント) (キ) NIIGATA アートリンク 県立近代美術館・県立万代美術館、新潟市美術館・新津美術館の4館を巡るスタンプラリー	5
	② ボランティアの活用・充実		(ア) 自主事業(絵本の読み聞かせ研修・朗読) 2回 延21人 (イ) サポート活動(イベント等の会場設営、受付など) 2回 延20人 (ウ) 広報補助活動(ポスター、ちらし郵送作業) 12回 延75人 ※平成30年度登録者数 45名	4
	(2) 計画的な広報活動の実践による、美術館活動の周知 ① ホームページの充実・活用 ② 様々な媒体を利用した周知	【3】	(ア) ホームページに分かりやすく情報を掲載 (イ) SNSを開始 (ウ) 美術専門誌や新聞、テレビ、ラジオによる広報 (エ) 近隣の区や他市等できめ細やかな広報を実施	5
健全なマネジメント	(1) 施設の効率的な管理運営 ① 少ない人的資源の中で、安全で機能的・能動的な管理運営	【3】	(ア) 朝礼による日々の管理運営情報の共有 (イ) 定期的な館内ミーティングの開催 (ウ) 受付職員、監視員との朝礼、終礼の開催	—
	(2) 報道機関との共催関係の形成や実行委員会形式の展覧会の開催 ① テレビ局・新聞社との連携	【3】	(ア) 実行委員会形式での開催 3回 「足立美術館所蔵 横山大観と近代日本画名品展」及び「連載30周年記念 ぼのぼの原画展」 ・新潟日報社・NSTと実行委員会を組織 「北欧の陶芸家 リサ・ラーソン展」 ・新潟日報社・UX新潟テレビ21と実行委員会を組織 (イ) その他の企画展では新聞社と名義共催 1回	1
	(3) 年間を通じて、収益率を意識した展覧会の企画・運営 ① 展覧会経費と収入バランスを認識し、職員全員が予算状況を把握	【3】	(ア) 共有ファイルを活用し、展覧会ごとの収支を職員間で情報共有 (イ) 歳入28,002千円 歳出28,381千円 ※年間入館者数 98,930人	1
組織と人員配置及び施設管理	(1) 美術館活動を充実させるため、必要な人員配置と職員研修の実施による人材の確保と育成 ① 魅力ある美術館を目指すための、職員の相互協力	【2】【3】	(ア) 各種研修への参加(博物館学芸員専門講座、著作権セミナーほか) (イ) 職場研修の実施(接遇研修、AED講習ほか)	—
	(2) 老朽化した設備などの計画的な改修 ① 長期的な計画による予算措置	【2】	(ア) 展示室スポットライトの省エネ(LED)化 (イ) 財務課への予算要求	—
	(3) 中・長期の継続的な事業活動を支えるための、直営形式による管理運営体制の維持	【2】	(ア) 直営形式による管理運営体制の維持 (イ) 臨時職員の弾力的な活用	—